世界ヒンドゥー大会に30万人

インド・アラハバード

日立つ政治スローガン

二月十二、十三の二日間、インドのアラハバードで、六年ごとに開かれる第三回世界ヒンドゥー大会が世界ヒンドゥー協会（VHP）の主催で開かれた。インド北部ウッタル・プラデーシュ州にあるアラハバードはガンジス川とヤムナー川が合流するヒンドゥー教の聖地。インド各地から参加した同教の信徒や活動家らは約三十万人。この間、二十万人を超える人たちが沐浴した模様。

海外からも約百人の代表が、ネパールやカンボジア、タイ、インドネシア、日本などから参加。ヒンドゥー教はインドだけの宗教と思われがちだが、カンボジアのアンコールワットは同教の遺跡であり、バリ島では今でも信仰されている。また、仏陀は同教の神「ヴィシュヌ神」の九番目の生まれ変わりとされ、多くのインド人が仏教も同教の一つと思っている。十日、アラハバードでの記者会見で、VHPのアショーク・シンガル総裁は、世界平和に向けて仏教との連携を呼び掛けていた。

日本から参加したのは、インド文化協会（内田大円会長）の呼び掛けに応じた僧侶、富田ら二十四人。一行は十二日、内田会長のスピーチをはじめ、倶示教聖山柿本寺住職の釈正輪師による読経、江ノ島児玉神社宮司の山本白鳥師による神事などを行った。次いで夜の文化プログラムでは、二条後子&オアシスガールズが「蓮の花」やインドのカラム大統領任期の「ジャスミンのささやき」などの詩舞を披露し、数万観衆の喝采を博した。

第3回世界ヒンドゥー大会で読経する釈正輪・倶示教聖山柿本寺住職ら日本からの一行＝2月12日、インド・アラハバード

（詳細は後号に掲載）

大会は十一日開会、十三日閉会の予定だったが、乾季である二月には珍しい大雨のため、ガンジス川の広大河川敷に設置した会場が使えなくなり、十二日に延期、会期を二日に短縮して行われた。十一日は、全国から列車やバス、さらには徒歩でアラハバードに到着した人たちが、駅のホームや市内の学校、河川敷のテントに溢れる状況となった。

大会の発言で目立ったのは、「ヒンドゥー国家の建設を」「インド政治のヒンドゥー精神化を」などの政治的なメッセージだ。VHPが推すインド人民党（BJP）は一九九六年から二〇〇四年まで政権を取っていたが、同年の総選挙でソニア・ガンディー率いるインド国民会議を中心とした統一進歩連盟に政権を奪われ、現在に至っている。もっとも、ヒンドゥー至上主義と距離を置いているBJPからは、わずかの幹部しか大会に出席しなかった。

ヒンドゥー教は紀元前一五〇〇年頃に、インドに侵入してきたアーリア人のバラモン教と土着の信仰が結びついて発展してきた。ヴェーダ聖典やカースト制度などをバラモン教から引き継いだ多神教で、輪廻や解脱などの概念を有する。ヒンドゥー教の信徒は人口の八割強を占め、宗教というよりインドの文化そのものだといえよう。

七福神のひとり弁財天がヒンドゥー教の女神サラスヴァティーであるなど、同教は日本の信仰、文化にも深く影響を与えてきた。また、ヒンドゥー教徒が宗教を掲げて他国を侵攻したことはないが最近、インドやパリではイスラム教と、ネパールではマオイストとの間に軋轢を生じているという。

神殿の丘回廊修復工事

イスラム教徒が反発

エルサレム

【カイロ東元真】イスラエル考古局庁が、エルサレム旧市街にある神殿の丘（ユダヤ名、イスラム教名はハラム・シャリーフ＝高貴な聖域）付近で六日から始めた、丘に入るための回廊修復工事に伴う掘削工事に対し、イスラム教徒が「聖地の土台が破壊される恐れがある」として反発、工事妨害のための投石などを行ったことから、イスラエル警察は八日までに三十人以上のイスラム教徒を逮捕した。カタールの衛星テレビ局アルジャジーラによるとイスラエル警察は催涙弾とゴム弾などを使用、（イスラム教徒が礼拝を行う金曜日の）九日には、双方の衝突で計数十人が負傷し、十七人のイスラム教徒が拘束された。負傷したイスラエル警官も十七人に上った。

イスラエル側は、約三年前に地震などで壊れ、安全性に問題が生じた同回廊に代わる橋を建設するための掘削工事で、イスラム教の聖地管理組織ワクフからの了解済みと主張、神殿の丘に立ち入ることはないとしているのに対し、イスラム教徒側は、ワクフは工事に同意していないと主張している。工事は八カ月で終了するとしており、オルメルト・イスラエル首相も工事の中断要請を拒否した。

アルジャジーラが掘削工事の模様を長時間放映したこともあって、アラブ・イスラム諸国に広く知れわたり、同諸国の一部やアラブ連盟（本部カイロ）も工事に反発している。エジプトのアブルゲイト外相は十日、国連に対し、イスラエル側に工事中断を求めるよう要請した。

掘削工事現場は、旧市街南部の糞門から、神殿の丘内にあるイスラム博物館やアルアクサモスク付近に通じる橋の下で、直接「丘」にかかわる個所ではない。しかし、イスラム教徒にとっては聖地の一部との認識から反発を強めている。過剰反応とも言えるが、イスラエルに対する日ごろの不満や不信も爆発したものとみられる。「イスラエルは、聖地の下にある遺跡類を暗殺しようとしている」（エジプト国営紙同係者）との過激な噂をも信じる一部エジプト人もいる。

神殿の丘は、古くはソロモンの神殿があった場所とされ、ダビデが神の契約の箱を置いた所とも言われている。現在の神殿跡は紀元前一〇年にヘロデ王により建てられたもので、イエス・キリストもこの神殿を訪れ、十字架に掛けられて死んだ時、神殿の幕が真っ二つに切り裂かれたと聖書が伝える神殿ともされている。

神殿の丘の中央にある「岩のドーム」と呼ばれる黄金色の丸い屋根を持つモスクは、イスラム教勢力が六三六年にエルサレムを征服した記念に、六九二年にイスラム教のカリフ、アブデル・マリクにより建てられたもので、イスラム教徒にとっては、メッカとメジナに次ぐ第三の聖地。岩のドームにある「聖岩」は、預言者ムハンマドが昇天した場所ともされ、ムハンマドの足跡や、天使ガブリエルの手の跡といわれるものもある。

ユダヤ教では、アブラハムがイサクを神にささげようとしたモリヤの丘とされ、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教にとっては互い譲れない聖地。さらにイスラム教では、最後の審判が行われる日にはすべての魂が岩の下の洞窟「魂の井戸」に集まるとされている。

最近の聖地をめぐる争いでは一九九六年、イスラエルが神殿の丘の南部にある「嘆きの壁」の地下にトンネルを開通させた時にも双方が衝突、イスラエル兵十六人とイスラム教徒六十九人が死亡している。二〇〇〇年には、シャロン・イスラエル元首相が神殿の丘を訪問したことをきっかけに、パレスチナ人による第二次インティファーダが開始された。

伊勢・丹生の水銀鉱山跡

神道つれづれ

―元伊勢原像―（二）

神職・「にっぽん文明研究所」代表 奈良泰秀

●65●

奈良泰秀

捜しあてた九頭竜川源流にある山中の台地には、柔らかい晩秋の陽射しがそそいでいた。空は高く澄み、風は冷気を含んでいた。かつての神明神社の境内には枯れかけた人の丈を超える雑草が生え、小高い一角にメートルを超す石柱がひっそりと立っていた。碑文人々が棲む生活感はまったく消えている。

だがこの旧穴馬村とその周辺地区の歴史は古く、遥か縄文時代に遡る。千メートル級の山々の峰を縫う九頭竜川沿いに発掘された各遺跡からは、竪穴式住居跡を始め磨製石斧や石皿、深鉢や土器などが多数出土している。

資料館で購入した昭和五十三年に和泉村教育委員会が発行した『いずみ村の古代と埋蔵文化』には以下のように記されている。

「和泉村は縄文文化の宝庫として、古くから注目されてきました。ごく最近、土器の整理をしていた際、竪穴住居跡と思われる遺構が発見されました。この遺構は、直径約五メートルの円形で、深さは約一メートルあります。遺構の中央部には、石囲いの炉があり、その周辺から多数の土器片が出土しました。この遺構は、縄文時代中期のものと推定されます。」

二千五百人が故郷を離れて他県などに散っていった。現在の和泉村の人口は八百人を切っているが、歴史が永いことで多くの伝説や民話が残っている。戦後、國學院大學で教鞭を執られた柳田國男先生は、農商務省の農務官僚を務めておられた頃の明治四十四年七月、この穴馬地方を視察されて『北國紀行』を記されている。農業政策から民俗学へと研究対象を発展させていった視点で、山間の地の気候や産業、生活慣習や習俗、家庭構成から女性の気質までも描かれている。

三重や徳島などを始め、辰砂が付着した縄文期の石皿や磨石などが各地で発見され、当時はすでに辰砂を粉砕する精製法があったことが解明されている。土器や木製品への顔料利用のほかに防腐にもすぐれていたことで、朱色に塗られた死者の人骨や彩色された古墳の石室・壁画なども出土している。平城京の華麗な建物や寺院の柱などが鮮やかな赤に塗られ、朱漆や朱墨にも用いられた。また、仏像や金銅製品を造り、これに金メッキをする際には、辰砂を容器に入れて加熱し、気化した水銀を塗布していたのだ。

古代では伊勢・紀伊・

日の記録には、「近江国に金青（現青とも、青色の顔料）を献上させた。伊勢国には朱砂・雄黄、常陸・備前・伊予・日向の四国には朱砂、安芸・長門の二国には金青・緑青、豊後国には真朱を献上させた」とある。同じく元明天皇の和銅六年（七一三）五月十一日に、「伊勢は水銀、相模は硫黄石・白蝋石・黄蝋石、（略）美濃は青緑石、飛騨・若狭は共に雲石を献ずる。（略）」とある。古代朝廷も水銀や顔料を入手するのに腐心していたのだ。

伊勢・丹生の水銀鉱山跡

ィンランド

プルを牧師が祝福

頁くルーテル教会

この牧師は、正式な式典の仕方では結婚式を行わなかったという理由で、教会の法を犯していないと主張していた。あくまでも個人の立場で祝福を与えたというわけだ。教会は牧師の主張を認め教会を決めたが、同じようなケースが出てくることを警戒している。

フィンランド政府は同

ミ処理機 「環境生活館」 ㈱バイオビジョン

家庭内で生ゴミ・ペットのフンの処理が出来てしまう！

一家に一台「環境生活館」

消えた

1日550グラムになるといわれる家庭の生ゴミが、処理機にポイッと放り込んでおくだけで15～20分後には影も

全国に広がる販売ネットワーク

この生ゴミ処理機販売の中心は㈱バイオビジョンです。製造メーカーである㈱東北環境と販売契約を締結し全国的に販売活動を展開しています。販売の拠点は東京に置き北海道から九州、沖縄まで府県単位の1県1社代理店を設置して「一家に一台」を目標